様式第３号

事務事業評価表（平成２６年度）

事業コード	747	課コード	0604	会計種別	公共下水道事業特別会計	予算の種類	■政策　□経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業	柴崎排水区整備事業	実施計画への位置づけ	●有　○無	②部課名	建設部・治水課
		個別事業	北新田堤外排水路改修事業				
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　■天王台　□湖北　□新木　□布佐　□全市		
	⑤事業期間	平成２５年度　～　平成２８年度		⑥担当職員数	9 人　（換算人数　1.3 人）		
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	535,000 千円	当該(開始)年度	（当　初）217,598 千円　（うち人件費　12,090 千円）		
					（変更後）千円　（うち人件費　千円）		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ：重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ：●有　○無	部門別計画への位置づけ	（計画名）都市排水路施設の整備
(2)目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害の発生を防止するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。		事業目的	柴崎地区の浸水被害を軽減させる。		
(3)事業内容	内　容	現在の柴崎排水区の内水排除対策は、堤外に排水する暫定ポンプや暫定調整池で対応しているが、下流部は、高台に囲まれた地形であり、北新田堤外排水路、後田樋管や市街地の幹線排水路の排水能力不足に起因し、浸水被害が常襲的に頻発にしている。抜本的な内水排除対策は、最下流となる北新田堤外排水路改修、後田樋管築造や幹線整備としている。このことから、最下流になる北新田堤外排水路改修を行う。		当該年度執行計画	柴崎排水区の放流先にあたる、北新田堤外排水路改修工事を行う。 最終工区までの用地買収を行う		
				当該年度活動結果指標	排水路工事延長 用地買収	単位：m	想定値 200／実績値

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該(開始)年度	北新田堤外排水路改修工事を行う。	直接	排水路工事の進捗率	%	0	50
３年後	北新田堤外排水路改修工事を行う。	直接	排水路工事の進捗率	%	0	100
最終(概ね５年後)	北新田堤外排水路改修工事を行う。	直接	排水路工事の進捗率	%	0	100

(7)事業実施上の課題と対応	堤・樋管改修や北新田堤外排水路改修は、国河川事業と一体となった事業展開が必要であり、多種多様な関係機関（国・県・改良区等）との協議や実施方針の確立、既存水路隣地の用地取得が絶対条件である。	代替案検討	○有　●無

(8)施行事項　実施内容　費　用

平成２５年度 政策	内　容	金額(千円)	平成２６年度 政策	内　容	金額(千円)	実績値(千円)	平成２７年度 政策	内　容	金額(千円)	平成２８年度 政策	内　容	金額(千円)
*	水路改修工事（１／４）	80,000	*	水路改修工事（２／４）	170,000		*	水路改修工事（３／４）	170,000	*	水路改修工事（４／４）	165,000
*	附帯工事	9,000	*	附帯工事	17,000		*	附帯工事	8,000	*	附帯工事	9,750
*	用地買収	1,257	*	実施設計	10,000		*	道路切回し工事	30,000			
*	用地測量	140	*	用地買収（３期）	1,750							
*	嘱託登記	150	*	用地測量（３期）	3,630							
*	不動産鑑定	404	*	嘱託登記	1,380							
*	電柱移設負担金	1,000	*	不動産鑑定	173							
*	改良区清算金	44	*	改良区清算金	175							
			*	特別調査	400							
			*	電柱移設補償費：繰越明許	1,000							
予算(済)額	合　計	91,995		合　計	205,508			合　計	208,000		合　計	174,750

項目	平成２５年度		平成２６年度		実績値	平成２７年度		平成２８年度	
(9)財源内訳 国庫支出金	補助率 0 %	0	補助率 50 %	90,000		補助率 50 %	85,000	補助率 50 %	82,500
県支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
起債	充当率 75 %	68,500	充当率 100 %	89,800		充当率 100 %	85,000	充当率 100 %	82,500
一般財源		23,495		1,000			0		0
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	■特会 □受益 □債務 □基金 □その他	24,708		■特会 □受益 □債務 □基金 □その他	38,000	■特会 □受益 □債務 □基金 □その他	9,750
(10)人件費等 換算人数(人)		1.15		1.3			1.3		1.3
正職員人件費		10,695		12,090			12,090		12,090
嘱託職員報酬額		0		0			0		0
臨時職員賃金額		0		0			0		0
事業費(予算(済)額＋正職員人件費)		102,690		217,598			220,090		186,840
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）	684.6千円／m		1,087.99千円／m						

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目		事　前　評　価		事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））		改善検討
必要性	(1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	現在の柴崎排水区の内水排除対策は、堤外に排水する暫定ポンプや暫定調整池で対応しているが、下流部は、高台に囲まれた地形であり、北新田堤外排水路、後田樋管や市街地の幹線排水路の排水能力不足に起因し、浸水被害が常襲的に頻発にしている。抜本的な内水排除対策は、最下流となる北新田堤外排水路改修、後田樋管築造や幹線整備としている。このことから、最下流になる北新田堤外排水路改修を行う。		○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞		○要 ○不要
	(2)市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他	＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他	＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞	○要 ○不要
		○②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他	＜その他の内容＞	＜その他の内容＞		
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容	工夫の具体的な内容	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）	参加・協働の程度・内容	○要 ○不要
		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 ＜その他の内容＞ 住民説明会の実施	住民説明会を開催した。		○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点	取組む内容	実施した具体的な内容	環境への配慮	○要 ○不要
		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 ＜その他の内容＞ 該当なし			○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	

効率性	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック	達成状況 実績値(f)(%)	達成率(%)(f/b×100)		改善検討
(1)目標設定は適切か？	0	50	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要

(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策	実施状況			事業費の削減対策について	改善検討
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%)(g/c)×100	○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった	○要 ○不要
	217,598	△114,908						
	事業費削減率(%)		＜削減の内容＞	＜超過理由等＞			＜想定どおり削減できなかった原因＞	
	△111.9							

(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)	単位	費用単位	計算方法	達成状況 実績値(h)	対目標値(%)(h/e)×100			改善検討
	0.02	%	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：(目標値－現況値)×費用単位／事業費			○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向